

Japan EV Festival 2018
Reducing CO2
「第24回日本EVフェスティバル」開催のお知らせ
2018年11月3日(土・祝)筑波サーキット・コース1000にて

日本EVクラブでは、電気自動車時代に先駆けて電気自動車の祭典を開催します。

手作りのEVによる「1時間耐久レース」

ポルシェ916などの名車がEVになって復活。サーキットを疾走します。
出場車はすべて市民がコンバートしたEVです。

電気レーシングカートERKによる「30分耐久レース」

EVの速さを証明します。F1ドライバーの片山右京氏もびっくりの高性能です。

自動運転時代の到来に先駆けた「自動運転競技車タイムアタック」

世界を変えようとしている全自動運転車の可能性を間近に見られます。

最新EV・プラグイン・ハイブリッド車・FCVのサーキット試乗会

市販車の実力をサーキットで試せます。
著名モータージャーナリストが同乗して、ドライビング・テクニックを指南します。
そして、モータースポーツの楽しさを体験できます。

そのほかたくさんプログラムを用意しています。

一般社団法人 日本EVクラブでは、今年で24回目を迎えるEVの祭典「日本EVフェスティバル」を開催します。日本EVフェスティバルは、自分たちで作り上げた改造EVを持ち寄ってレースをしたり、アイデア満載の手作りEVを展示したり、EV・プラグインハイブリッド・FCVサーキット試乗会に参加したり、あるいは最新技術のひとつである自動運転競技車によるタイムアタックにトライしたりと、参加者はもちろん家族や友人、観客も交え、みんなでEVやモータースポーツを楽しむサーキットならではの祭典と言えます。

24回の歴史があつてこそこのイベントもあります。日本EVクラブ創設のきっかけとなった電気フォーミュラカーである電友1号のデモランです。製作は1994年。現在、世界で開催されているフォーミュラeに20年も先駆けて作られた、現存する日本最古の電気フォーミュラカーの復活です。

究極のドライビング・エクスタシーはオープンエアードライビングです。2013年に急速充電だけで日本を1周したEVスーパーセブンは、音がせず、排ガスも出さずに走るオープンエアードライビングのスポーツEVです。静寂そのままに駆け抜ける喜びは、新しい時代のドライビングを明示しています。サーキットで同乗試乗ができます。

筑波サーキットコース1000は、1周1,030mの初心者からベテランまで楽しめるコースです。コース全体を見渡せるので、迫力あるレースをすぐそばで体感することができます。

静かなレースでEVを楽しんでもらうのと同時に、自動車における環境・エネルギー問題と、CO2排出量削減について考える機会を提供できたらと考えています。21世紀のモータリゼーションが垣間見えるイベントです！メインテーマは、「Reducing CO2&アクセル全開！」です。

イベントの詳細は、ホームページをご覧ください(<http://www.jevc.gr.jp/>)

イベント開催の告知をお願いします。また是非お越しいただきたく、ご案内申し上げます。

* * *

Japan EV Festival 2018は、EVを仲間と心ゆくまで楽しむ祭典。

テーマは、Reducing CO2&アクセル全開！

■開催概要

◇開催日：2018年11月3日(土・祝)8:45～16:00

◇会場：筑波サーキット・コース1000(茨城県下妻市村岡乙159)

◇主催：一般社団法人 日本EVクラブ

◇後援(予定)：環境省、国土交通省、経済産業省、一般財団法人 日本自動車研究所、
茨城県、茨城県下妻市

◇協力：一般財団法人 日本オートスポーツセンター

◇内容：

(1)コンバート(改造)EV1時間ディスタンスチャレンジ ※エントリー：12台

手作りのコンバートEV(電気自動車)による1時間耐久チャレンジ。バッテリーの種類により鉛電池クラスとリチウムイオン電池クラスの2クラス設けます。クラス混合、クラス別に表彰します。ドライバーの人数は無制限。地球温暖化クイズの結果を反映するなど、独自のルールを設けたEVによる新しいモータースポーツです。ベテラン勢に混じり、初出場となる4台がどんな走りを見せるのか楽しみです。

(2)ERK30分ディスタンスチャレンジ ※エントリー：16台

手作りの電気レーシングカート(ERK)による30分耐久チャレンジ。バッテリーセット数は無制限、ドライバー人数も無制限。3つのクラス(鉛電池搭載のERK-1、ERK-2クラス、リチウムイオン電池クラス)が出場します。なお参加16台中、リチウムイオン電池クラスは8台エントリーしています。その速さに驚いてください。

(3)何でもEV展示 ※エントリー：3台

EVの可能性にチャレンジする人たちを応援します。常連の鹿沼高物理部が今年製作したのは折り畳み式の立ち乗り型EV。とてもユニークなオリジナルEVです。また、新しいEVスポーツの提案として、トヨタ東自大の学生フォーミュラEVと神奈川大学の学生フォーミュラEVが出場します。全日本学生フォーミュラ大会に出場した、これらのデモランにも注目です。昨年、見事に復活した電友1号(日本EVクラブ・フォーミュラEV)も走行予定です。

(4) 自動運転競技車タイムアタック ※エントリー:2台

今、もっとも旬な話題の自動運転車を自作し、本格的なサーキットで走らせます。ERKベースの2台の自動運転競技車両が走ります。EVフェスティバルでしか見られないスペシャル・トライアルです。

(5) メーカー製EVオーナーズ・タイムアタック ※エントリー:6台

メーカー製EVのオーナーなら誰でも参加可能です。自分のEVの実力を確かめられるトライアルです。コースを3周して、基準タイム(1分00秒)にもっとも近いドライバーが優勝。ただし、基準タイムをオーバーしたら失格というユニークなルールです。

(6) 環境EXPO／EV・プラグインハイブリッド車・FCVサーキット試乗会

EVの最新情報と環境問題をテーマにした展示ブースです。

自動車メーカーなど8社が出展予定。発売を開始したホンダクラリティPHEVや、日産リーフ、フォルクスワーゲンe-Golfなど話題の車両が登場する予定です。

また、EV・プラグインハイブリッド・FCVサーキット試乗会を開催します。同乗のジャーナリストが運転の仕方や車両の特徴について指南するe-ドライブレッスン付きで、モータースポーツの楽しさも味わえるサーキット試乗会です。

■ 出展企業および試乗車・製品(予定)※順不同

トヨタ(MIRAI、新型プリウスPHV)、三菱(アウトランダーPHEV)、日産(リーフ)、BMW (i3、MINI Cooper S E Crossover ALL4、225xeアクティブツアラー)、フォルクスワーゲン(e-Golf、パサートGTE)、ホンダ(クラリティPHEV)、日本EVクラブ(EVスーパーセブン/同乗試乗)

※試乗会参加ジャーナリスト(予定) 順不同

津々見友彦、片岡英明、斎藤慎輔、石井昌道、斎藤聡、吉田由美

■ ベンチャーテント…日本EVクラブ会員のベンチャー企業による出展ブースです。

OZ MOTORS(ビートルEV)など。

(7) Reducing CO2(CO2排出量診断)

CO2排出量診断コンテスト: 来場者が会場に来るまでにどのくらいのCO2を出したか、交通(クルマ、電車、徒歩等)によるCO2排出量を診断します。CO2排出量をもっとも少なかった方を表彰します。

※第24回日本EVフェスティバルは、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施されています。

★開催概要は、ホームページ(<http://www.jevc.gr.jp>)でもご覧いただけます。

開催概要の内容は、予告無く変更になる場合があります。

取材ご希望の方は、別紙の取材申込書をお送りください。※締め切り10/23(月)

★問い合わせ先

(一社)日本EVクラブ 代表 館内 端 (担当:日本EVクラブ事務局 石川響子)

〒156-0043東京都世田谷区松原2-20-10-401

TEL 03-5376-8446 FAX 03-5376-5310 <http://www.jevc.gr.jp> E-mail: info@jevc.gr.jp